

開会挨拶

日本家庭科教育学会会長 赤塚朋子

日本家庭科教育学会会員の皆様、コロナ禍の困難な中、子どもたちの家庭科の学びのためにご奮闘なさっていらっしゃることに拝察申し上げます。

日本家庭科教育学会 2020 年度大会（オンライン開催）の開会にあたり、一言ご挨拶申し上げます。

本来でしたら、今年の 7 月 4 日～5 日に北海道旭川大会でお会いして、家庭科教育に関する研究への活発な議論がなされていたところでした。しかし、世界的な新型コロナウイルス感染症の拡大が今日に至っても一向に衰えを見せず、先行きの不透明な日々が続いています。

こうした状況下だからこそ、生命と生活そのものを題材としている家庭科教育に関する研究を増強することを目的としている本学会が大会を開催しない年を何としても回避し、会員の皆様の研究発表の場を保障することを理事会の総意で決定し、会員の皆様の同意のもと、2020 年度大会（オンライン開催）の開会に至りました。この間の関係各位のご尽力に心から感謝申し上げます。

今回、開催するにあたり、スタート時から最も配慮した点は、会員の皆様の研究成果をいかにリスクから守るかということでした。安全で安心した研究発表環境の構築の方策を模索し、試行を重ねながら、今日を迎えています。他の学会が、無料で開催するなか、本学会では参加費を徴収することになりましたのは、こうした安全で安心した研究発表環境の構築に対する専門的なバックアップを準備したからです。セキュリティの確保への協力なくしては開催できませんでした。株式会社アトラス様には、この場を借りて御礼申し上げます。

さて、本大会がオンライン開催であることのメリットをあげてみます。

第 1 に、すべての演題を閲覧することができます。例年、発表が複数会場での同時進行であったため、優先順位をつけたり、あきらめていたりしていましたが、開催期間中、何回も閲覧可能です。

第 2 に、質問や意見交換が両者の合意のもと、可能になります。セキュリティは強化しましたが、双方向での研究の議論の活発化も強化されました。音声なしの発表の場合に、オンラインタイムでの質疑の時間も確保しました。

第 3 に、学会主催の課題研究の報告会をリアルタイムで行うことで、学会の課題を会員の共有財産にする場を確保しました。

第 4 に、会員の好きな時間に好きな場所で、学会の最新の研究成果の情報を得ることができます。

第 5 に、宿泊の手配や荷造り・荷物の運搬がいらぬですし、交通費や宿泊費も無料です。

第 6 に、家庭科教育の様々な研究領域に触れる機会になり、皆様の研究の新たな一面を発見するチャンスになります。

以上、研究への刺激を思う存分受け止めていただけましたら幸いです。今大会が皆様の今後の研究発展への一助になりますことを祈念して、開会挨拶とさせていただきます。